

一般質問は8日から



6月10日 午前予定
平良木哲也議員

修学援助制度の拡充について
私学助成の拡充について
公立保育園の延長保育の拡充について



6月10日 午前予定
樋口良子議員

後期高齢者医療制度の資格証明書交付について
安心こども基金の活用について



6月10日 午後予定
上野公悦議員

地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用について
農地法の改正について
地域商店の支援・利用促進について

6月11日 午後予定
橋爪法一議員

平和政策について
自治基本条例について
新たな過疎法の制定について



一般質問は、8日(月)から行われます。日本共産党の議員は10日(水)からの予定です。日取りは前後することがあります。

少数会派しめだしは議会の自殺行為

議会会議規則の一部改正に反対

日本共産党上越市議員団ニュース

No.185 2009年6月7日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木哲也 525-9096 (上中田)

議会初日には、「会派」とは2人以上の議員により結成される団体という」として一人会派を認めず、議会内の活動を制限することになる議会会議規則の一部改正案が提出され、同日、賛成多数で可決されました。制限の内容としては、会派代表者会議に正式参加することができないことのほか、本会議での発言制限や政務調査費の支給制限などが議論の対象になっています。

議員は一人ひとりが市民の負託を受けており、少数とはいえ各議員の活動を確実に保証することが議会活性化につながります。

日本共産党議員団は、少数会派のしめだしにつながることから、反対しました。

経営改善 支援資金 増やすだけでなく、借りやすく 上野議員が総括質疑～6月定例市議会



6月1日に始まった上越市議会6月定例議会では、市長の提案説明のあと、総括質疑が行われました。日本共産党議員団の上野公悦議員は、緊急経済対策の一つの経営改善支援資金の増額提案などについて、市長の提案趣旨をただしました。

上野議員は、これまでの緊急経済対策をどう総括しているのか、そして、支援資金の増額の政策的なねらいはなにかとただしました。

これに対して市長は、「昨年末から今春まで見込みをはるかに上回る利用があり、目的にかなった最大の成果である」と考える。企業活動の継続、雇用維持への効果、事業者の安心感につながることを期待している」と答えました。

上野議員はさらに、「地元業者の悲痛な声は、より借りやすくということだ。商工会でも、政策金融公庫の方で、もっぱらそちらを紹介している」と指摘、市の制度融資の内容改善を求めました。

澤海産業光部長は、「市の融資は、国・県の融資よりも伸びている。金利や融資決定までのスピード感も対応しているが、指摘をふまえ、研究していきたい」と答えました。

1億3千万円の支給減 地域経済への影響考え

一般職の一時金減額に反対

市職員の夏季一時金の減額議案に対し、総括質疑で上野議員は、「市内最大の事業所たる市役所職員の一時金減額の市内経済への影響をどう考えるのか。また、民間企業の一時金が未決着のこの時期に、先行して減額することの民間への影響をどう考えているのか」とただしました。

市長は、「この減額の影響を正確に推計することは困難だが、影響が全くないとは言えない。しかし、民間の反映のために実施するものであり、消費への影響を懸念して減額しないとなれば、市民の理解は得られない」と答えました。

今回の一時金削減案は一般職だけでなく市長、市議会議員など特別職についても対象です。

日本共産党議員団は、上越市内の経済への影響、市民世論はどうかなど議論を重ねました。その結果、1億3千万円にのぼる一時金削減は地域経済大きな影響を与えること、民間企業のさらなる一時金減額のきっかけになりかねないことのほか、県人事委員会の十分とはいえない調査に基づく提案であることなどから、一般職については反対し、特別職については賛成しました。